



# 特別支援学校の 図書館運営 はじめの一步! ～活用編～



このリーフレットは、特別支援学校での各教科や授業など日常の学校生活において、図書館活動をサポートする学校図書館に関わる先生方に向けたものです。

図書館に多くの本がなくても県立図書館や市町村立図書館から本を借りることができます。

また、県立図書館や市町村立図書館では、学校と連携して読み聞かせを行っている事例もあります。

一人で抱え込まず、まずは他の学校の事例を参考に、県立図書館や近隣の図書館、他の委員会や栄養教諭などに相談してみると、一歩進んだ学校図書館での活用が増えていくことになるかもしれません。

是非、このリーフレットを学校図書館の活性化に役立てていただけたらと思います。

## Contents

### File.1 授業での活用（SDGs）【草加かがやき特別支援学校】

県立図書館の資料を借用し、図書コーナーで展示した事例

### File.2 授業での活用（百人一首）【戸田かけはし高等特別支援学校】

授業にあわせて市町村立図書館の資料を借用し、図書室で展示した事例

### File.3 絵本のコラボ給食【騎西特別支援学校】

栄養教諭と県立図書館で事前打ち合わせし、オンラインや授業にて読み聞かせをした事例

### File.4 おはなし会【蓮田特別支援学校】

図書館担当教諭が電子掲示板を利用し、おはなし会を実施した事例

### File.5 おはなし会（公共図書館との連携）【騎西特別支援学校】

県立や市町村立図書館の司書を学校に招き、おはなし会を実施した事例

### File.6 図書委員会活動【草加かがやき特別支援学校】

図書委員会が放送委員会に参加し、新着図書のお知らせをした事例

### File.7 図書委員会活動【戸田かけはし高等特別支援学校】

図書委員会の活動として、全校生徒から手形を集め、掲示物を作成した事例

県立図書館がお手伝いします！

# File.1 授業での活用（SDGs）

## 実施例

実施校：草加かがやき特別支援学校  
作業学習（高等部）

### 実施時期

令和3年9月～11月

### 授業のねらい

- ・ 獨協大学の学生との交流をとおして、社会とのつながりを広げる。
- ・ SDGsについて学習することで、自分たちが取り組んでいる活動もその一つであることを知り、自分の取組に興味関心ややりがいを持たせ、キャリア発達を促す。

### 取組の経緯

作業学習の一環で交流のある獨協大学のゼミと、「授業交流」という形でコラボし、SDGsについて学ぶことになった。

#### 1 大学生による作業学習の見学

オンラインで作業学習の様子を見学してもらった。生徒から作業内容の説明を行ったり、実際に作業している様子を映しながら、大学生からの質問などにも答えて交流した。

#### 2 大学生による、生徒へのインタビュー

事前にインタビュー内容を作ってもらい、回答を作成し、オンラインで答えた。

#### 3 大学生によるSDGsセミナー

SDGsについてや、作業学習など日頃取り組んでいることがSDGsの実現に貢献していることをセミナー形式で説明。

以上の授業交流後にアンケートを行った結果、「自分たちがSDGsに貢献できていることを知って嬉しかった。」「SDGsは難しかった。」「ジェンダーについてもっと知りたいと思った。」など、SDGsについて興味を持った意見が見られた。そのため生徒に分かりやすくSDGsを説明できる本を探すことになった。

### 本の展示までの流れ

1 図書委員会担当教諭に、SDGs関連の本について相談

2 公立図書館にSDGs関連本について相談

大学生との交流を通して生徒たちがSDGsについて興味を持ったが、校内図書コーナーに関連本が少なかった。新規購入すると納品までに時間がかかる。生徒たちが興味を持ったタイミングで本を展示したいと考え、公立図書館に問い合わせ取り寄せを依頼した。



↑（図書コーナー前の本の紹介掲示物）

（獨協大学生作成、授業交流についても紹介）↓



3 図書委員会によるSDGsに関する本の展示  
借用本を図書コーナーに置くと校内の本と混ざって目立たなくなると考え、体育館に行く際に多くの生徒が通る廊下に、生徒たちと机を運び配架することにした。

ブックスタンドで本を並べ、数冊は表紙を見せておくことで興味を持ち手に取りやすいよう工夫した。図書コーナーから離れたところにあるため、本の紹介の掲示物を作成して図書コーナー前の廊下に掲示した。

### 子どもたちの様子

食品ロス問題の本で紹介されていた廃棄される食品の写真に特に驚いていた。とても衝撃的だったようで、真剣な表情でページをめくりながら写真をじっくりとのぞきこんでいる生徒もいた。

SDGsと聞くと難しいイメージを持ちがちだが、視覚的な資料で理解が深まった様子だった。

### 取組の成果

本を自由に閲覧できるようにしたことで、生徒が自ら興味を持ったことや、学習したことを広げ深める機会となった。

### 使用した本

- ・ 『プラスチックプラネット』（ジョージア・アムソン＝ブラッドショー作 大山泉訳 評論社 2019）
- ・ 『マンガで学ぶSDGs 1～4』（蟹江憲史監修 金の星社 2021） ほか

## 実施手順

- 1 SDGs関連本について、司書教諭（図書館担当者）に相談【授業担当教諭】
- 2 校内図書館の関連本を確認
- 3 公立図書館に問い合わせ（関連本が不足の場合）
- 4 公立図書館の本を活用した展示の実施
- 5 記録・広報（ブログ等）

# File.2 授業での活用（百人一首）

## 実施例

実施校：戸田かけはし高等特別支援学校  
国語科（高等部）

### 実施時期

令和3年12月中、計3時間

### 授業のねらい

- ・言葉への関心を高め、生活の中で活用することができる。
- ・主体的に活動に取り組むことができる。

### 事前準備

- ・百人一首に対しての既習事項や経験の確認
- ・司書教諭と連携して百人一首関連の本を収集
- ・百人一首関連の情報収集（百人一首を題材とした漫画等）
- ・百人一首札の準備

### 授業展開

- 1時間目：百人一首とは（プリント）
  - (1) 百人一首について説明
  - (2) 基本的な遊びかたについて説明
  - (3) 次時に実際に百人一首の札を見たり触ることを予告
- 2時間目：歌の意味を知り、自分好みの和歌を探そう（プリント）
  - (1) 例として三首詠み、作者・歌の意味を学習する。
  - (2) 歌と作者の一覧から自分好みの歌を選ぶ。
- 3時間目：前回選んだ歌の意味を知り、百人一首で遊ぼう。
  - (1) 自分や友達の選んだ歌の内容をプリントで読む。
  - (2) 遊び実践1  
自分の選んだ歌を詠み、友達が字札をとる。
  - (3) 遊び実践2  
坊主めぐり

### 本の展示までの流れ

- 1 図書館担当者に百人一首の授業内容を説明（授業担当教諭）
- 2 図書館担当者に本の校内展示の提案（授業担当教諭）
- 3 本の選定（図書館担当者）  
選定した本の中から授業に引用した箇所や、生徒の反応等を伝え、生徒の実態や授業内容等から、どのような種類の本がよいかを話し合った。百人一首の札の必要性和購入した際の管理についての検討も行った。



（図書室での展示の様子）

### 4 公立図書館から本の借用と展示

他の生徒へのアプローチを考え、テーマを「百人一首」のみに特化せず「言葉」として捉えることにした。日頃生徒たちからなぞなぞやクイズの本が読みたいという要望があったため、関連本を市立図書館から借用した。

校内所蔵の早口言葉やことわざ絵本も併せて展示した。

### 子どもたちの様子

- ・歌についての解説は、文章のみよりは、漫画の方が読みやすそうと興味を示していた。
- ・五七五七七のリズムは次の単元「短歌」にもつながられ、生徒の創作意欲や五七五の俳句まで興味を広げていた。

### 取組の効果

生活の中でも使用できるものとして、興味関心を持てる題材であると感じた。

### 使用した本

- ・『親子で覚える百人一首』（熊谷さとしマンガベストセラーズ 1991）
- ・『みんなで遊ぼう！百人一首大図鑑』（国土社編集部編 国土社 2018）  
ほか

## 実施手順

- 1 司書教諭に百人一首の授業内容を説明【授業担当教諭】
- 2 司書教諭に本の校内展示の提案【授業担当教諭】
- 3 本の選定【司書教諭】
- 4 市立図書館から本の貸出
- 4 本の展示
- 5 記録・広報（ブログ等）

# File.3 絵本のコラボ給食

## 実施例

実施校：騎西特別支援学校  
(小学部・中学部・  
高等部)

### 実施時期

令和3年9月～12月、計9日間 (1カ月に2～3回)

### ねらい

- ・絵本から給食メニューを知り、食への興味関心を広げる
- ・給食メニューから絵本を知り読むきっかけを作る
- ・読書月間も意識し、食から読書へのつながりを考える

### 事前準備

- ・栄養教諭との事前打ち合わせ
- ・選書
- ・調理法の確認 (栄養教諭・調理員)
- ・掲示物作成 (メニュー予告)
- ・クラス内で絵本コラボ給食に使用する絵本の読み聞かせ (児童生徒の実態に応じて)
- ・給食配膳中にオンラインでの読み聞かせを行う (パソコンのカメラからタブレット端末を通して配信)

### 給食メニューと使用した絵本

#### 【からあげ】

『にくのくに』 (はらぺこめがね作 教育画劇 2020)

#### 【かぼちゃスープ】

『かぼちゃスープ』 (ヘレン・クーパーさく せなあいこやく アスラン書房 2002)

#### 【コロッケ】

『ポテトむらのコロッケまつり』 (竹下文子文 出口かずみ絵 教育画劇 2016)

#### 【新米ごはん】

『ごはん山』 (はらぺこめがね著 白泉社 2020)

#### 【やきそば】

『やきそばばんばん』 (はらぺこめがね作・装丁 あかね書房 2016)

#### 【かつおぶし入りサラダ】

『サラダでげんき』 (角野栄子さく 長新太え 福音館書店 2005) ほか

### 『ごはん山』での授業展開 (高等部国語科「川柳」)

- ・「秋の俳句と川柳」の学習時期と重なり、『ごはん山』作中にごはん川柳が出てくることから、絵本コラボ給食を授業にも取り入れ、川柳づくりに取り組んだ。
- ・授業の導入に絵本の読み聞かせを行い、川柳のリズムと自由な表現方法を学んだ。そして「食事」をテーマに川柳を詠む活動を行った。



(新米ごはん『ごはん山』との給食コラボ)

- ・出来上がった川柳は学年で投票を行い、選ばれた作品には賞を付けた。

### 本の展示までの流れ

「絵本コラボ給食」の前後では、絵本と給食メニューの「予告」と「給食の振り返り」について掲示物を通して行い、より絵本と給食が身近に感じられるよう取り組んだ。

また、生徒自身が関わった学習活動と関連した掲示も行った。

### 子どもたちの様子

- ・事前に読み聞かせを行い、メニューのイメージを持たせることで、初めてのメニューでも「あの絵本のスパゲッティだ!」と食べることができた。
- ・給食後に「スープの絵本を読みたい!」とメニューが載っている絵本を借り、食も読書も楽しむ様子が伺えた。

### 取組の効果

オンラインでの食育の話題提供 (米ができるまで) や、読み聞かせ等の取組など4か月という期間であったが多様な取組ができることを実感した。

オンラインではあるが、画面上に絵が見え、声が聞こえる読み聞かせは、やはり児童生徒にとって身近であった。

## 実施手順

- 1 県立図書館に相談し、紹介する絵本を選ぶ【栄養教諭、司書教諭 (図書館担当者)、公立図書館司書】
- 2 献立を組む【栄養教諭、調理員】
- 3 掲示物で給食メニューを予告する【司書教諭 (図書館担当者)、栄養教諭】
- 4 絵本の読み聞かせを行う (オンラインで実施)
- 5 終了後、掲示物で「給食の振り返り」を行う【司書教諭 (図書館担当者)】
- 6 給食とコラボした絵本を展示、貸出を行う【司書教諭 (図書館担当者)】
- 7 記録・情報発信 (学校ホームページ、学校だより)【司書教諭 (図書館担当者)】

# File.4 おはなし会

## 実施例

実施校：蓮田特別支援学校  
読み聞かせ会  
(自立活動)  
(小学部・中学部  
・高等部)

### 実施時期

平成31年度6月～11月（年3回実施）

### 授業のねらい

- ・絵本・パネルシアター・エプロンシアター等に興味を持ち、楽しむことができる。
- ・図書室に親しむ。

### 指導のポイント

- ・絵本は小さくて見づらいので、電子黒板を使用し大きくするようにした。
- ・動きのあるパネルシアター・エプロンシアターと絵本という組み合わせにした。
- ・歌や楽器、効果音等を入れ、お話の雰囲気が伝わるようにした。

### 授業展開

- 1 導入部分  
季節の歌・あいさつ・今日の内容
- 2 プログラム  
【第1回】  
パネルシアター「おぼけちゃん」  
大型絵本『きよだいなきよだいな』（長谷川  
摂子文 降矢なな絵 福音館書店 2001）  
【第2回】  
エプロンシアター「くいしんぼう ゴリラ」  
絵本『きょうはみんなでクマがりだ』（マイ  
ケル・ローゼン再話 ヘレン・オクセンバ  
リー絵 山口文生訳 評論社 1991）  
【第3回】  
エプロンシアター  
「ふしぎなキャンディーやさん」  
絵本『さつまのおいも』（中川ひろたか文  
村上康成絵 童心社 1995）
- 3 まとめ  
連絡・あいさつ

### 子どもたちの様子

- ・集中して見たり、聞いたりすることができていた。
- ・笑顔も多く見られ、お話を楽しんでいた。

### おすすめのポイント

- ・図書担当の教員だけではなく。他の教員にも協力してもらい読み手になってもらった。
- ・年3回だが、それぞれの回で内容を工夫することができた。



(図書館の様子)



(図書をたくさん  
読んだ児童・生  
徒に渡している  
「よく読んで  
賞」)



(読み聞かせ会の様子。電子黒板を使用し、絵本を拡大している。)

## 実施手順

- 1 読み聞かせ会で読む絵本等を図書担当教諭で相談する。読み聞かせ会の役割分担を行う（実施日の約2か月前）
- 2 リハーサルを行う（実施日の約1週間前）
- 3 会場準備を行う（前日・当日）
- 4 読み聞かせ会の図書担当教諭で振り返りを行う（読み聞かせ会終了後の会議の時間）
- 5 図書だよりにより、読み聞かせ会の様子を掲載する

# File.5 おはなし会 (公共図書館との連携)

## 実施例

実施校：騎西特別支援学校  
生活単元学習  
「絵本に親しもう」  
(中学部)

### 実施時期

1学期に1回(年間スケジュールを組む)

### 授業のねらい

- ・絵本に興味をもち、話し手の言葉を聞き絵本のストーリーを考える(Aグループ)
- ・絵本に興味をもち、話を聞く(Bグループ)
- ・絵本を集中して聞き、楽しむ(A・Bグループ共通)

### 授業展開

- 1 導入(進行:授業担当教諭)  
あいさつ  
本時の説明  
公共図書館司書紹介
- 2 展開(進行:公共図書館司書)  
実態に応じ、2グループ編成で行う。  
Aグループ(20分程度)  
生徒入れ替え  
Bグループ(20分程度)
- 3 まとめ  
終わりのあいさつ
- 4 終了後、各クラスで「きょうのおはなし」  
(公共図書館司書作成)の配布

### 選書、プログラム作成のポイント

- ・グループの実態に応じ、読み聞かせる本の難易度を調整する
- ・手遊びや、本に関連する科学遊びを同時に行うことで、関心を促す

### プログラム例

#### パターン1

手遊び「こどもかぜのこ」  
紙芝居『よいしょよいしょ』(まっいのりこ脚本・絵 童心社 2004)  
絵本『みかんのひみつ』(岩間史朗写真撮影 ひさかたチャイルド 2007)  
大型絵本『でんしゃでいこうでんしゃでかえろう』(間瀬なおかた作・絵 チャイルド本社 2005)

#### パターン2

大型絵本『わゴムほどのくらのびるかしら?』(マイク・サーラーぶん ジェリー・ジョイナーえ 岸田衿子やく ほるぷ出版 2000)



(おはなし会の様子)



(やさいを使った実験)

大型絵本『にんじんとごぼうとだいこん』(和歌山静子絵 鈴木出版 2007)  
絵本『やさい』(平山和子さく 福音館書店 1982)  
やさいを使った実験

### 子どもたちの様子

おはなし会が始まると生徒から、絵をじっと見つめる様子、耳を傾けお話に親しむ様子、声を上げて嬉しさを表現する様子などが見られたり、図書館司書の問いかけに自分の感じたことを答える様子が見られた。おはなしの会を通して、それぞれの楽しみ方で、絵本に親しんでいた。

### 取組の効果

回数を重ねることで、おはなしの会に対する見通しや期待感をもち、参加することができた。生徒と一緒に参加する教員も読み聞かせの技法を見て学ぶ機会となった。

## 実施手順

- 1 日程調整、会場確保  
【授業担当教諭、該当学部教員】
- 2 日程調整【司書教諭(図書館担当者)、公共図書館司書】
- 3 該当学部教員に情報共有(日程確認)
- 4 指導内容の検討:グループ編成、学習指導案作成、選書相談  
【授業担当教諭、該当学部教員、司書教諭(図書館担当者)】
- 5 公共図書館との授業内容打合せ、選書  
【司書教諭(図書館担当者)、公共図書館司書】
- 6 派遣文書作成【司書教諭(図書館担当者)】
- 7 おはなし会の当日進行
- 8 次回の日程確認【授業担当教諭、司書教諭(図書館担当者)、公共図書館司書】
- 9 該当学年教員に対するアンケート【司書教諭(図書館担当者)】
- 10 記録・情報発信(学校ホームページ、学校だより)【司書教諭(図書館担当者)】

# File.6 図書委員会活動（年間活動）

## 実施例

実施校：草加かがやき特別支援学校

### 実施時期と年間活動内容

5月～3月まで以下は共通活動

- ・図書コーナーの整理分類
- ・分類シール貼り

実施時期	活動内容
4月	自己紹介 読書 委員会紹介掲示物
5月	おすすめ本紹介（掲示物作り）
6月	おすすめ本紹介（掲示物作り）
7月	季節の飾り作り 整理整頓を促す掲示物作り
9月	図書希望アンケートの配布と回収 読み聞かせ
10月	外部からの図書関係のお知らせや ポスターを図書コーナーに掲示 久喜図書館から借りた本の紹介 （掲示物作り） 読み聞かせ
11月	季節の飾り作り 新着図書の整理整頓 新着図書コーナーの整備 読み聞かせ
12月	新着図書のお知らせ（放送委員会 のお昼の放送に参加） パネルシアター
2月	来年度に向けた委員会紹介の動画 撮影
3月	来年度に向けた委員会紹介の動画 撮影

### 委員会活動のねらい

「主体的に学校作りに参画し、責任を持って役割を果たす態度を養う。」というねらいのもと4月の委員会で、生徒が以下の2つの目標を決めた。

- ・みんなで協力して図書コーナーを整理する
- ・本の分類をがんばる

### 子どもたちの様子

グループごとに本の背表紙に色の丸シールを貼る生徒、別のグループで丸シールの上に透明のカバーシールを貼る生徒に分かれて、分担、協力している。図書コーナーを整理整頓する際には、シールの色ごとに分けて棚に入れる。「整理整頓！」と掲示物を作ってはいるが、利用者の中には本を読んだ後に棚に本を倒して置く子もいるので、委員会の生徒は根気よく本を起こしたり、本来の場所に本をもどしたりしている。



（書架の様子。分類によって丸シールの色を分ける）



### おすすめのポイント

- ・年度はじめ、乱雑に本が並んでいる写真と整理された本棚の写真（上）を見比べてみると、「これでは使いにくい」「よくない」と生徒から感想が出る。では使いやすくするためにはどうしたらいいか、自分たちの活動にどうつながっていくのかと問いかけ、本の分類シールを貼る活動、整理整頓を促す活動へとつなげている。小学部向けに絵本は動物のシールで分類している。
- ・『図鑑』『読み物』『歴史』等、本の種類ごとに色の丸シールを貼っている。背表紙に色のシールが貼ってあることで、目で見ても色ごとに棚に入れていき整理整頓ができる。
- ・放送委員会に依頼して、図書委員会の生徒が給食中のお昼の全校放送の参加し、新しい本が届いたとお知らせをアナウンスする等、全校に新着図書をアピールした。

## 実施手順（放送委員会に参加した新着図書のお知らせ）

- 1 図書委員会で代表生徒1名を決定
- 2 図書委員会担当の教員から、放送委員会担当の教員へ依頼
- 3 図書委員会の代表生徒と教員で、新着図書の紹介の原稿を作成して読む練習をする
- 4 放送委員会が放送日や放送の担当生徒を決定
- 5 お昼の放送に図書委員会の代表生徒と教員が1名ずつ参加

放送委員会が当日の給食やおすすめの曲を紹介し、図書委員会からのお知らせをアナウンスアンケートで希望をとって購入した新着図書が届いたこと、図書コーナーの新着図書コーナーにあることを放送

# File.7

## 図書委員会活動 (掲示物作成)

### 実施例

実施校：戸田かけはし高等特別支援学校



(図書室前に  
掲示した全校  
生徒の手形で  
作成された  
虹)

#### 実施時期

令和3年11月～令和4年1月（全3回）

#### 実施内容

全校生徒から手形を集め、集めた手形を使って大きな虹を作成する。

#### 委員会活動のねらい

図書室の掲示物を作成することで、図書室を身近に感じてもらうと同時に、使いやすい図書室を目指す。

#### 掲示物や紹介する場所

各教室、美術室、体育館2階ギャラリー

#### 広報など働きかけの方法

朝の打ち合わせで教員に周知するとともに、各学級にもプリントを配布して手形作成の協力を呼びかけた。

#### 子どもたちの様子

手形を取る活動、虹の形に貼り合わせる活動と簡単な作業だったこともあり意欲的に取り組めた。

#### 感想

新校の図書館のため、まだまだ殺風景だったが、生徒と一緒に掲示物づくりをすることができて良かった。

### 実施手順

- 1 画材を用意する【美術科担当教員】
- 2 虹の下絵を描く
- 3 全校生徒への呼びかけ、手形の回収
- 4 手形を使って5色の虹を作成する

【図書委員会】

## Link

こちらもおすすめ！  
事例が見られるウェブサイト  
学校図書館等における読書バリアフリー  
コンソーシアム

《<https://accessreading.org/conso/>》



教育現場で読書バリアフリーについての先進的な取組事例等が紹介されている。

都立特別支援学校の教育内容・方法の充実  
(東京都)

《[https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/document/special\\_needs\\_education/enrich.html#moku2](https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/document/special_needs_education/enrich.html#moku2)》



都立特別支援学校における言語活動および読書活動の実践事例が紹介されている。

また、年間計画の様式（Wordデータ）もある。

## 県立図書館が お手伝いします！

#### 学校支援セット

県立久喜図書館では、6つのテーマセット（米、点字、SDGs、仕事、地理、総合百科事典ポプラディア）の団体貸出を行っています。学校での調べ学習、教職員の研修にご活用ください。お近くの図書館で貸出・返却ができます。

#### 図書館運営相談

学校図書館の運営にあたり、疑問やお困りのことがありましたらご相談ください。本のラベルはどうしたらよい？ どういう本を選べばいいの？ などなど。久喜図書館子ども読書支援センターまでご連絡ください。

詳細はこちら (<https://www.lib.pref.saitama.jp/guide/children/post-11.html>)



編集発行

埼玉県立久喜図書館 子ども読書支援センター

〒346-8506 埼玉県久喜市下早見85-5

TEL 0480(21)2659

メールアドレス lib-jido@pref.saitama.lg.jp